

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報

学籍番号	mf21009
氏名	内山駿
学部	システム理工学専攻
学科(コース等)	理工学研究科
学年(渡航開始時)	修士2年
ウェブ等への体験談掲載への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報

渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
国・地域名	ポーランド
都市名	ワルシャワ
留学先大学名	ワルシャワ生命科学大学
留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2022年2月28日 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2022年6月28日
留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input checked="" type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
上記協定校を志願した理由を教えてください。	国際部からメールより、上記の大学にErasmusの奨学金を受給しながら留学のチャンスがあることを知ったため応募した。 そのため、この大学を選んだというわけではない。ただ、留学に行きたかった。
(研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について

休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済みであり、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	修士1年時に、卒業要件を満たす分の単位を既に取得していたため。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

私は、自身の研究内容に近い環境・土木工学科に所属し、5つの授業を履修していた。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報を教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Green Infrastructure in Climate Change Adaption	単位数 (現地単位数)	6ECTS
科目概要	<p>グリーンインフラストラクチャーという、自然の力を活用して社会課題を解決していくという考え方、実践例を学んだ。</p> <p>授業形態は、講義・研究室での実験・フィールドワークの3種類であった。</p> <p>講義では、生物多様性とは量だけでなく質にも目を向ける必要があり、いかに在来種が生息しているかが自然環境において大切であることを学んだ。</p> <p>研究室での実験では、グリーンルーフ(緑の屋根)の設計手法を学んだ。ランダムに選択された基盤(土壌)の密度・最大含水量・透水能力等を測る実験を行った。</p> <p>フィールドワークでは、大学より北に5時間ほど行った自然豊かな村を訪れた。現地での外来種の割合や土壌の状況から、自然環境を評価した。</p>		
科目名②	Hydrological Modeling with GIS	単位数 (現地単位数)	3ECTS
科目概要	<p>GIS, SWAT (The Soil & Water Assessment Tool) というアプリケーションを用いて、水文学の観点からシミュレーションを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GISを用いて、河川・標高のデータから流域を分ける手法を学んだ。 ・GISを用いて、各観測地点の降水量データより、その地域の面的な平均降水量を分析する手法を学んだ。 ・GISを用いて、土壌・土地利用のデータからその地区の浸透能力 (Curve Number_土壌曲線番号) を求める手法を学んだ。 ・GISとSWATを用いて、その地区の水収支、表面流出量を算出する手法を学んだ。 		
科目名③	Urban Hydrology and Urban Ecosystems	単位数 (現地単位数)	5ECTS
科目概要	<p>下水道システムの設計手法、近年甚大化する都市洪水に対しての適応策・シミュレーション手法を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Manning式、合理式等を用いた下水道システムの設計計算手法 ・SWMM (Stormwater Management Model) を用いた -現状の下水道システムによる雨水流出量のシミュレーション -堰・貯水槽・ポンプ設置後の雨水流出量のシミュレーション -グリーンインフラストラクチャー設置後の雨水流出量のシミュレーション 		
科目名④	Hydrology and Water Management	単位数 (現地単位数)	5ECTS
科目概要	<p>水文学の基礎を網羅的に学んだ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水圏環境とは何か、洪水確率とは何か、洪水にはどんな種類があるのか ・水位の測定方法(実演付き) ・ハイドログラフ(時間-水位)の算出方法。 ・水位流量曲線(水位-流量)の算出方法。 		
科目名⑤	Integrated Geo-Information System	単位数 (現地単位数)	4ECTS
科目概要	<p>GISを用いた、土地利用の分析手法を学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GISの基本的な使い方 ・土壌・道路・都市との距離等により、新規開発に適した地域を求める方法。 ・GISを用いて、衛星画像よりRGBの比率を変えることによるマッピングの手法を学んだ。 ・GISを用いて、衛星画像より土地利用分類の割合をマッピングした。 		
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。
 - 交友関係-「交換留学生」、「現地の学生」双方とバランスよくコミュニケーションを取ることが重要だと思う。
私の場合は、授業が交換留学生で構成されていたこともあり、ほとんどの時間を交換留学生と過ごした。悪いことではないが、現地のポーランドの学生との交流が少なかったことにより、ポーランドの現状や学生の傾向等をあまり深くは把握できなかったと感じている。
 - 部活、サークル
私自身はフットサル部(1回ほど)、校外のサッカー、校外のボクシングジムに参加していた。
ポーランド現地の状況をより把握するためにも、校内外問わず、現地のローカルなコミュニティ・イベントに参加すべきだったと感じている。
 - 日常生活
留学の目的にもよるが、私の場合は「専門性を高める時間」、「世界を見る時間」のバランスを意識していた。言い換えれば、「授業の復習・研究・時事等、1人で黙々と過ごす時間」と「友達との会話や旅行の時間」である。留学に来たからと言って机に向かう時間が極端に減ることは良くないと思う。授業の復習や日本でやってきたことも継続することで、留学の価値が出てくると思う。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)
 - 留学前に目標を明確にしておくことが重要だと感じる。その点で私は少し後悔がある。
私の場合は、以下の3点であり、明確にしていたつもりだった。
 - 専門性を高める
 - 英語力向上
 - 世界を見る上記の2点に関しては、やる事が明確であったが(授業の復習を欠かさない等)、3点目の「世界を見る」という目標に関して、やる事が不明確であった。各国の学生とのコミュニケーション、たくさん旅行に行く、等ほんやりとしか決めていなかった。「世界を見る」ことの本質として、「今自分が持っていない知見・価値観を吸収すること」、「日本を外から見ること」であると留学の終了間際に気付いた。留学前に気付いていれば、より「現地学生との交流」、「現地授業(交換留学生用ではなく)の履修」、「コミュニティへの参加」等にも関心を持ち、とる行動も変わっていたと思う。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
 - 履歴書を英語で書く点
提出する履歴書は英語である。そのため、時間に余裕を持って取り組む必要がある。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
 - 向こうの国際部の対応が少し遅い点。
留学受け入れの承諾が遅く、VISAの申請・承認が出国ギリギリになってしまった。
 - 大使館よりVISA申請書類を事前に確認しておく。
VISA申請に必要な書類は、国際部から教えてもらえるわけではなく、自ら大使館のwebサイトから調べる必要がある。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。
 - 留学前から留学気分で。
国際部が申し込みから渡航まで全てやってくれる短期語学研修と違い、交換留学の場合、手続きは全て自分でやる必要がある。(もちろん困った点はサポートしてくれるが。)向こうの大学にたどり着くまでの期間も留学の価値のある部分だと感じる。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
 - 協定校の寮。大学キャンパス内にある。
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか?(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
 - 出願時に協定校に依頼することができた。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか?
交通手段や所要時間を教えてください。
 - 到着空港に、事前に連絡を取っていた現地学生のバディが迎えに来てくれた。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか?交通手段や所要時間を教えてください。
 - 寮がキャンパス内にあるので、徒歩で5~10分ほどで授業を受ける校舎にたどり着ける。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
 - 2人部屋だった。お世辞にも広くはなかった。「ベッド2つ+勉強机1つ+腕立て伏せが出来るくらいの空間」が実際のところであるが、生活するうえで特に困ったことはなかった。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	約750円	Student IDカードの発行料
往復航空券代(往復)	約23万円	行き-約10万円、帰り-約13万円ほどだった。
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	約66,790円	約4か月分
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	約15,000円	ビザ申請費用
計	33万2540円	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	約13,000円(440ズウォティ)	2人部屋-2人使用での金額
食費/月	約18,000円(600ズウォティ)	朝-コーンフレーク、昼-パンor学食、夜-自炊or外食
その他/月	約50,000円(旅行頻度次第)	国内・海外旅行
計	81,000円	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥0	私はヨーロッパの奨学金機構Erasmusより支援を受けていたため、該当なし。
計	¥0	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ、オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

5月頃のキャンパス内の写真です。
冬が明け、比較的暖かくなってくると、学生たちは芝生の上で溜まる習性があります。現地のポーランド学生のグループ、各国からの交換留学生のグループ、で分かれているイメージです。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

寮の2人部屋に宿泊していました。正直狭いですが、家賃がとても安いので不満はありませんでした。机が1つしかないため、私は基本的に寮の共有勉強部屋にいた時間が長かったです。

その他、任意の写真



説明文

同時期の交換留生たちとグダンスク（ポーランドの北）旅行に行った際の写真です。
様々な国籍の学生と旅行をすることは価値のあるものでした。寝食を共にし、より各国の文化や彼らの持つアイデンティティを感じることができました。

その他、任意の写真



説明文

イギリスでプレミアリーグを観戦した際の写真です。
他のヨーロッパの国にも容易に安価で行くことができます。私は、ヨーロッパに滞在できる機会は今後ほとんどないと思い、イギリス・イタリア・ドイツ・ベルギー・オランダ・ノルウェー・リトアニアに旅行に行きました。

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学部	システム理工学部
・ 学科(コース等)	電子情報システム学科
・ 学年(渡航開始時)	2年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	ポーランド
・ 都市名	ワルシャワ
・ 留学先大学名	ワルシャワ生命科学大学
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年(1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年(2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2022年2月下旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2022年6月下旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input checked="" type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	理由は二つあり、一つ目はこの大学では日本よりも実践的な授業を受講できること、二つ目は、ERASMUSという奨学金がもらえるので選択しました。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取 り終えており、かつ指導教員の許可 も得られ、就活前に帰国することが できたため、等)	国際プログラムに所属しているため、留学が必須でした。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

私は、ビッグデータサイエンス修士課程の授業を主に選択しました。授業自体は特に難易度は大変難しいわけでは無いと思いますが、すべて英語による開講のため、理解出来なかった場合は、先生や友達に聞く勇気が必要だと思えます。またテストの時は、友達と勉強をすることで乗り越えて行きました。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Operatinal Research Applications	単位数 (現地単位数)	4
科目概要	linear programming, procution system planning, transportation proglamなどを、プログラムの使用もしくは手書きの計算で求めるようにする。毎回しっかりどういう原理で計算しているのかを考えることで授業についていくことが出来る。		
科目名②	Oracle Databases	単位数 (現地単位数)	4
科目概要	oracleのデータベースを使った授業、実際のデータベースはクラウド上で操作する。毎回、授業内課題が渡されるので、それを毎回こなすことで、手を動かしてコマンドを覚えることができる。		
科目名③	Processing massive datasets	単位数 (現地単位数)	4
科目概要	R言語を使った、データの分析の基礎を学べる。授業は、説明→演習といった基本的な流れだが、出される課題が難しい。しかしその課題を解ききること、テストは簡単に解ける。実際のテストはRに関する操作が主な割合を占めたが、関数を覚えなければならないので、難易度は高め。		
科目名④	Survey Sampling	単位数 (現地単位数)	4
科目概要	サンプルを取る際の抽出方法、また妥当性を上げる手段などを学べる。実際にサンプルを集める際は、コストなどの制約がかかっている場合などが多いのでその対処法を学べる。		
科目名⑤	Selected models in medical experimental research	単位数 (現地単位数)	4
科目概要	薬の効用、治療の妥当性など、実際の社会の問題から、どのようにすれば妥当性を検証できるのかなどを学ぶ、プログラミング言語としては、R、PYTHON、SASなどを利用する。難易度はとても難しいが成績はは、テストではなくプロジェクトで評価された		
科目名⑥	selected machine learning models in financial applications	単位数 (現地単位数)	4
科目概要	経済のモデルや、銀行の破産者の割合、など実際の社会問題からどの方法で、分析をすればより正確な予想などが出来るかを学ぶ。AIや機械学習を用いるので、その基礎がないと難しいかもしれない。この授業もプロジェクトで評価された。		
科目名⑦	network security	単位数 (現地単位数)	4
科目概要	AWSを中心にAWS上のnetwork securityについて学ぶ		
科目名⑧	Artificial intellegence at AWS platform	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	AWSを中心にAWS上のAIについて学ぶ		
科目名⑨	Artificial intellegence in Python	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	AWSを中心に、AWS上でのプログラミングについて学ぶ		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

まずは英語を鍛えてください。よく留学3カ月で突然英語が聞き取れるようになるとよく言われますが、それは本当です。しかし、それだと1 Semesterの留学だと遅いように感じられます。従って、留学に来る前に英会話を鍛えておくか、現地で沢山の人と意図的に交流するようにしてください。最初はなにを言ってるかわからず、苦痛ですが乗り越えるとあっという間に沢山の友達ができます。そうすることで様々な経験が出来、自分の力を成長させることにつながると思います。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

私は留学に来る前は、授業についていけるか不安でした、なぜなら私はリスニング能力とスピーキング能力が壊滅的だったからです。しかし、来たら何とかなりました(もちろん、英語で沢山の挫折をしました)そうならない為にも、まずは来る前に十分に英語を話せるようにしておいてください。それが出来て、スタートです。後は日本と変わらないので、積極的に色々なイベントに参加したりして、現地の文化を知れると勉強以外にも実りの大きい物なと思います。また英語力を上げたいなら、英語圏の国に行ってください。ヨーロッパを観光したいなら、この大学はオススメです。理由としては授業がフレキシブルな点とERASMUSという奨学金がある、生活費だけなら月3万以下という点があるため、沢山の旅行が出来ると思います。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

ERASMSは提出書類が多いので気をつけてください。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

期日の最後にやるのではなく、期日の初めにすべての手続きを終わらせて下さい。外国の申請に期待をしてはいけません。僕は10通以上、問い合わせメールを出しました。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。寮
(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等) 出願時に依頼
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？ buddyが迎えにきました
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。 学校の中に寮がありました
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。 部屋は狭いですが、生きていく分には問題ありません。トイレとシャワーとキッチンが共同です

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)		
往復航空券代(往復)	¥200,000	今はウクライナとの戦争が原因で高いと思います
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥70,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)		
計	¥270,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥12,000	
食費/月	¥20,000	基本自炊ですが、たまに外食をしました
その他/月	¥50,000	旅行とお酒が主に占めると思います。
計	¥82,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金		
ERASUMS	¥600,000	
計	¥600,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

学校はとても広く、学科ごとに校舎が分かれています。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

寮は2人部屋か3人部屋がランダムに分けられます

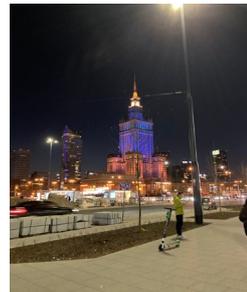
その他、任意の写真



説明文

クラスメイトです

その他、任意の写真



説明文

中心街にとっても近く、遊ぶところも沢山あります

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。